

No. 22 2026年4月26日

復活後第三主日礼拝  
説教『つながり実を結ぶ』

司会 吉丸初美さん  
奏楽 自動演奏機  
招詞 使徒行伝 17章30～31節  
主の祈 (564)  
讃詠 5 4 6  
交読詩編 詩 6 6 編  
祈禱 美歌 21-3 9 5  
使徒信条 (566)  
聖書 教 ヨハネ福音書 15章1～8節  
説教 (口語訳166頁、新共同訳198頁)

『つながり実を結ぶ』

祈禱 美歌 21-4 7 5  
献金  
感謝  
報謝  
頌栄 5 3 9  
祝禱  
後奏

次週の礼拝(復活後第四主日礼拝)  
説教『愛はすべてを完全に結ぶ帯』  
コロサイ人への手紙3:12～17

招詞 ヨハネ福音書3:16～18/交読詩篇詩98編  
讃美歌 546、21-290、21-449、540

礼拝当番  
今週 26日 司会 吉丸初美さん  
次週 3日 司会 市川真美恵さん  
会堂清掃奉仕 5月10日(日)  
コーヒータイム後に掃除をいたします。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
★コーヒータイム 礼拝後～  
それぞれの思いを語り合しましょう。

●レコードコンサート 13時～15時30分  
モーツァルト 弦楽四重奏 第16番 変ホ長調K.428  
モーツァルト 弦楽四重奏 第17番 変ロ長調《狩》  
交響曲 第41番 ハ長調《ジュピター》K. 551

今週の集会/スケジュール

★聖書を読む会 4月28日(火)10時30分～12時  
創世記15章を読んでいきます。  
興味のある方は是非ご参加ください。

次週以降の集会/スケジュール

●めぐみ幼稚園礼拝 5月1日(金)10時30分～  
S山根師・堀川恵子さん他による懇談 5月5日(火)  
13時～16時 教誨活動等について情報交換と  
懇談の時を持ちます。覚えてお祈り下さい。

★吉丸初美伝道師は娘さんの産後帰省のため  
5月1日(金)～3日(日)お休みいたします。

★次週の礼拝説教・聖餐式は山根眞三師によって  
奉仕されます。

●めぐみ幼稚園礼拝 5月8日(金)10時30分～  
園庭に鯉のぼりが泳いでいます。

★5月定例会教会役員会 5月10日(日)礼拝後  
役割分担、新年度の方針、教務・教勢報告、  
2026年度活動方針等  
役員の仕事と健康を覚えてお祈りください。

◎ 公 告 ◎

★第75回西中国教区定期総会 5月19日(火)13時30分  
～5月20日(水)16時 会場:カリエンテ山口  
吉丸師・高橋さん・山根師が出席予定。お祈り下さい。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	3	8	11
聖書を読む会	4	2	6

◇今週の説教要旨(復活後第三主日礼拝)

『つながり実を結ぶ』ヨハネ福音書 15章1～8節  
過ぎ越しの祭りの前に、イエスさまはこの世を去って父の  
みもとに行くべき自分の時が来たことを知り、世にいる自分  
の者たちを最後まで愛されました。しかし、十字架にかかる  
時弟子たちはイエスさまを打ち捨て逃げます。イエスさまは  
弟子たちがこのように一度折れてしまう枝になることを知りな  
がら、それでもあなたは「わたしの枝だ」と呼びかけ再び命  
を分かち合うことを約束されました。このことはイエスさまを  
救い主と信じて「とどまり」今を生きる私たちにも向けて語ら  
れています。主は一人ひとりとの個人的交わりを求めています。  
人間は失敗します。でも主は「失敗したから」切り捨てる  
のではなく「もう一度実を結べるように引き上げる」という約束  
を語られたのではないのでしょうか。「わたしはまことのぶどう  
の木、わたしの父は農夫である」偽物のぶどうの木とは誰  
なのでしょう。イエスさまと神の関係が示され実を結ぶた  
めに必要なこと、実を結ばない枝の行く末が書かれてい  
ます。そのキーワードは「つながる」。それはただつながって  
いるのではなく、「つながり続ける」。そして「豊かに実を結  
ぶ」ことが求められています。そんなことができるのでしょ  
うか。離れていては何もできない。これは弟子たちの今後の  
そして今の歩みを指しているようです。そして、私たちの歩  
みを。自分の力で立とうとして「木であるイエスさま」から離  
れてしまうからです。そこでイエスさまは「自分の力で頑張  
るのではなく、ただわたしにつながり続けなさい」と教えられ  
ています。そして実を結びなさいと。実を結ぶかどうか、枝  
が切られるかどうか、祈りが叶えられるかどうかはすべてが  
結果であって中心ではありませんでした。大切なのは「とど  
まり続けること」と教えられます。イエスさまとの関係、父である  
神との関係。とどまるには「わたしの言葉にとどまる」こと。  
「あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉ではなく  
わたしをつかわされた父の言葉である」だから祈りは叶えら  
れ実を豊かに結ぶようになる。そしてそれによって父である  
神は栄光をお受けになるのです。イエスさまとの出会いは  
決断を伴います。応答するか拒否するか。とどまるかどうか。